

# おおむかしのひとびと

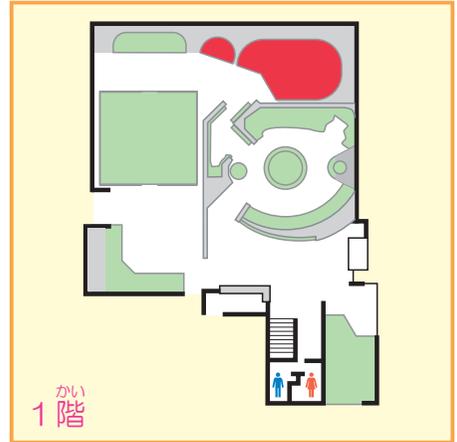
(コーナーの名まえ)

- 五領ヶ台のくらし
- 塚越古墳とくらし

おおむかし ひと みちか いし つか どうぐ つく  
大昔の人は、身近にある石を使って道具を作り、  
せいかつ せいかつ いし つか どうぐ つち  
生活をしていました。石を使った道具には、土をほ  
る だせいせきら き き ませいせきら せきぞく  
打製石斧、木を切る磨製石斧、けものをとる石鏃、  
さかな つか せきすい つの りよう  
魚をとるのに使う石錘や、しかの角を利用したつり  
ばり ひと せぜん もち し  
針などがあります。人びとは自然のものをうい、自  
ぜん せいかつ  
然をこわさずに生活をしていたのです。

やがて、中国大陸から米を作る技術や金属の道具  
が伝わり、土地を確保するために争いが起きました。人びとを支配する人が生まれ、  
その力で大きなお墓(古墳)が造られました。

この場所で見られます



お母さんがごはんを  
作っているのかな..  
おいしそう..

お父さんが外の広場で  
道具を作っているよ。



博物館の資料は  
たいせつにしましょう



にんげん いぬ  
人間と犬って  
おおむかしから  
なかよしだったのね



しばけん  
柴犬にしているね



だいち うえ み  
台地の上に見える  
ひく やま  
低い山のようなところは  
つかこしこ ふん  
塚越古墳というんだ。  
ちいき おさ ひと  
地域を治めた人の  
おお はか  
大きなお墓だよ。



## ミッション6

おおむかし ひと  
大昔の人は、どんなものを食<sup>た</sup>べていたでしょう？

ごはんのしたくをしているお母<sup>かあ</sup>さんのまわりからさがして、3つ書<sup>か</sup>いてください。

---

---

---